

コード No. 10243

**Anti-Human
Parkin (5A1) Mouse IgG MoAb**

容量 : 100 μg

はじめに

： **Parkin** をコードする遺伝子は常染色体劣性若年性パーキンソン症(**AR-JP**)の原因遺伝子として発見されました。遺伝性パーキンソン病はこれまでに **10** 個の原因遺伝子(**α-synuclein** 遺伝子、**UCH-L1** 遺伝子、**parkin** 遺伝子など)が同定されていますが、パーキン遺伝子の変異によるものが一番多いと報告されています。**Parkin** は約 **52kDa** のタンパク質で **N** 末端にユビキチン様ドメイン、**C** 末端側に **RING** フィンガーモチーフを持つユビキチンリガーゼです。**Parkin** の基質として **CDCrel-1**, **Pael receptor**, **o-glycosylated-α-synuclein**, **Synphilin-1** 等が報告されています。パーキン遺伝子の変異はエクソン **3-5** で欠失が多く報告されています。本抗体はその変異部分とは異なるエクソン **11** の配列に反応する抗体です。そのため、正常型・変異型共に検出することが可能です。

免疫抗原 : Human Parkin の C 端部分合成ペプチド (AYRVDERAAEQARWEAA)

起源 : マウス×マウス ハイブリドーマ (培養上清)
(X63-Ag 8.653 × BALB/c マウス脾臓細胞)

クローン名 : 5A1 サブクラス : IgG₁

精製方法 : Protein A 精製

包装形態 : 1 % BSA, 0.05 % NaN₃ 含有 PBS 1.0 mL に溶解したものを凍結乾燥

再生方法 : 精製水 1.0 mL 添加 (この時濃度は 100 $\mu\text{g/mL}$ となります)

保存方法及び安定性	: 2~8℃ 保存	5年間安定
	溶解後 -20℃ 保存	2年間安定

使用目的及び
使用方法

- ： 免疫組織染色 約 5 µg/mL にて使用可能
(ホルマリン固定 パラフィン包埋切片、MW 前処理が必要：1 0mM クエン酸緩衝液、pH 6.0 溶液中で 10 分間)
- ： ウェスタン・ブロッティング 約 5 µg/mL にて使用可能
- ： 免疫沈降反応 約 3 µg/test にて使用可能

特異性 : ウェスタン・ブロッティングにて確認